

公益社団法人 河北町シルバー人材センター

令和5年度 事業報告

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

1 概 要

「人生百年時代」を迎えた今日、高齢者がいきいきと活躍し続けることができる「生涯現役社会」を実現することが重要となっており、シルバー人材センターに対する期待はますます大きくなっています。平成31年(2019年)に発生が確認されて以来、人々のすべての活動の障害になっていた新型コロナウイルス感染症は、感染状況が沈静化に向かっています。それに伴い感染症法上の位置付けが季節性のインフルエンザと同じ区分になったことから様々な制限が緩和され、停滞していた社会経済活動が再開、復旧の方向にあります。このような中、令和5年度の事業概要は以下のとおりとなりました。

「就業の拡大」については、企業等(事業所)への就業の多くが受託(※)から派遣に切り替わったことや、植木剪定などに就業する会員の高齢化、不作による農作業の減、少雪による除雪作業の減等で個人家庭の受注が減少したことにより、受託事業の実績は前年比28.6%減の79,794千円となりました。一方、派遣事業については受託事業の多くが派遣事業へ替わったことにより、前年比128.8%増の45,128千円となりました。この結果、受託と派遣の合計は前年比5.0%減の124,922千円となりました。

「会員の拡大」については、月1回の定例説明会のほか、女性向け及び町内各地区での出張入会説明会を開催した結果、新規会員16人の入会となりました。一方、健康面や高齢等により退会会員が15人となり、前年より1人増となりました。当面の目標を、「コロナ前(令和元年度)」の水準(238人)に回復させること」としてはありますが、厳しい状況が続いています。

「安全就業」については、安全・適正就業委員会による安全パトロール、安全対策員による仲間への安全指導、草刈り班及び剪定班向けの安全講習会を開催し会員の事故防止に努めてきました。その結果、傷害事故は前年より1件少ない5件となりました。しかし、転倒による重症の事案も発生していることから、今後、自己点検の推進や転倒防止対策を進めていきます。一方、損害賠償事故の発生はなく、毎年のように発生していた草刈り作業中の飛び石による物損事故も、昨年に引き続き発生はありませんでした。

「センター財政」については、令和5年10月から消費税のインボイス制度が施行され、経過措置期間を経て税負担が増えていく状況にあります。国際情勢などの不安定化を起因とする物価上昇にも対応していくため、令和5年度から事務費を改定したところです。配分金については山形県最低賃金の適用を受ける派遣事業の賃金の改正に合わせ、改定をしてきました。

依然として事業執行上の基盤である会員の確保が最重要課題となっており、特に除草・剪定等外作業班の後継者育成が急務となっています。センターを取り巻く環境は日々厳しく変化していますが、これからも会員・役職員一丸となって活力あるセンターづくりを推進し、地域社会の期待に応えていけるよう努めていきます。

以下、主な事業実施状況について報告します。

※ 就業の区分のうち、これまで「請負」としていたものは、決算書類上（正味財産増減計算書）の「受託事業（収益）」を表すことから、「受託」と表記することにします。（以下、同じ）

2 事業実施状況

(1) 就業の拡大

① 受託事業

発注者別実績では、「企業等」の就業について受託から派遣への切り替わりが進み、前年比 45.5%減の 28,874 千円、「公共」は 9.4%減の 35,848 千円、「個人家庭」は、植木剪定、除草、農作業及び除雪件数の減から前年比 21.6%減の 15,072 千円となりました。

これらの結果、受託事業実績は前年比 28.6% (31,944 千円) 減の 79,794 千円となりました。

事業実績（受託）

年度	会員数	就業実人員	受注件数	契約金額	就業延人員
R4	223 人	226 人	1,219 件	111,738 千円	25,137 人日
R5	224 人	192 人	1,067 件	79,794 千円	16,283 人日
比較	1 人	△34 人	△152 件	△31,944 千円	△8,854 人日

② 派遣事業

多くの就業が受託から派遣に切り替わった結果、前年比 122.8% (25,405 千円) 増の 45,128 千円となりました。

事業実績（派遣）

年度	登録会員数	就業実人員	受注件数	契約金額	就業延人員
R4	50 人	50 人	19 件	19,723 千円	3,680 人日
R5	67 人	74 人	49 件	45,128 千円	7,831 人日
比較	17 人	24 人	30 件	25,405 千円	4,151 人日

③ 全体（受託＋派遣）

受託と派遣の合計実績は、前年比 5.0% (6,539 千円) 減の 124,922 千円となりました。

事業実績（受託＋派遣）

年度	会員数	就業実人員	受注件数	契約金額	就業延人員
R4	223 人	240 人	1,238 件	131,461 千円	28,817 人日
R5	224 人	226 人	1,116 件	124,922 千円	24,114 人日
比較	1 人	△14 人	△122 件	△6,539 千円	△4,703 人日

(2) 会員の拡大

当センターが地域の高齢者の「生涯現役社会」実現の受け皿となり、多様な地域の要望に応じていくためには会員の拡大が基本となります。次の取り組みを実施した結果、新規入会者は 16 人、健康面や高齢等による退会者が 15 人となり、前年度末より 1 人の増となりました。

○入会説明会の実施（毎月第 1 水曜日）

○出張入会説明会（町内 4ヶ所）の実施（3 月）

- 女性向け入会説明会の実施（10月）
- 会員による友人や知人への勧誘活動
- 夫婦会員の場合、一方の配偶者の年会費を免除
- 会員募集（説明会開催）チラシの隣組回覧（2月）
- 広報「シルバー河北」を活用した会員募集（9月、2月）

会員の入会・退会状況

年度	入会者数	退会者数	年度末会員数
R4	23 人	34 人	223 人
R5	16 人	15 人	224 人
比較			1 人

(3) 安全・適正就業の推進

① 安全就業の推進

「安全は全てに優先する」を合言葉に安全・適正就業委員会を中心に次の活動に取り組み、会員の事故防止に努めました。傷害事故は5件と前年度から1件の減となりましたが、転倒による重症事故が発生しています。損害賠償事故の発生はなく、前年度から1件の減となりました。例年、数件発生していた除草作業中の飛び石による物損事故は、昨年度に引き続き発生はありませんでした。傷害・物損の合計では6件（傷害保険申請のなかった1件を含む）と、前年より1件の減となりました。

新型コロナウイルス感染症対策については、会員に数人の感染が見受けられ、引き続き注意喚起を行いました。

- 就業現場巡回安全パトロールの実施（9月、12月）
- 「安全就業に関する標語」の募集（7月）
- 「安全就業たより」の発行（年5回）
- 機械器具の安全点検と整理整頓の実施（3月）
- 会員の健康診断受診及び自家用車任意保険加入状況の調査、受診・加入の勧奨
- 刈払機安全対策講習会の実施（5月）
- 植木手入れ安全講習会の実施（6月）
- 安全就業推進大会（県連合会主催）への参加（10月）
- 安全就業推進員研修会（県連合会主催）への参加（3月）
- 「交通安全ゆとり号」による運転適性診断の実施（3月）
- 新型コロナウイルス感染症に対する会員への注意喚起

② 適正就業の推進

就業の前提となる「適正就業ガイドライン」を基本に、「自主・自立、共働・共助」という理念のもと、グループ就業とローテーション就業の推進に取り組みました。また、会員により公平な就業機会を提供するために令

和4年度から「継続就業期間等に関する要綱」を施行しています。

(4) 普及啓発と地域貢献

① 普及啓発

シルバー人材センターの目的や事業内容を町民に広く周知し、センターのイメージアップを図るため、次の取り組みを行いました。

○広報「シルバー河北」の発行（9月、2月）

○利用広報用チラシ（4月、全戸配布）、女性向け入会説明会チラシ（9月、隣組回覧）及び会員募集チラシ（2月、隣組回覧）の発行

○ホームページの活用

② 地域貢献

シルバー人材センターは、地域社会の福祉と活性化に寄与することも大きな目的としており、次のボランティア活動を実施しました。

ボランティア活動内容	活動会員	参加人数
谷地ひなまつり会場・紅花資料館周辺の清掃 4月1・2日	谷地地区会員	67人
溝延城址公園の除草 8月20日	溝延地区会員	17人
「シルバーの日」谷地中央通り歩道の除草 9月9日	全会員	108人
谷地ひなまつり会場・紅花資料館周辺の清掃 3月30日	谷地地区会員	57人

(5) 講習会及び研修会の開催

会員が就業上必要な技能や知識を取得し、スキルアップを図るため次の講習会を開催しました。また、全会員対象の会員研修会については、センター事業の現在の状況をお知らせしたほか、外作業の職群班ごとに意見交換会と合わせて行い、就業上の課題を話し合いました。

◎河北町シルバー人材センター主催

開催日	講習内容	受講人数
5月10日	刈払機安全対策講習会	19人
6月13日	植木手入れ安全講習会	16人
11月9日	雪囲い講習会	12人
11月13～15日	毛筆筆耕講習会	6人

◎県連合会主催

開催日	講習内容	受講人数
7月28日	生き方について（立石寺住職 講演）	1人
8月22・23日	植木剪定講習	2人
9月27日	健康体操	11人
10月18日	派遣会員向け接遇・マナー講習会	9人

10月23日	シニア向けスマートフォン講習会	16人
--------	-----------------	-----

◎会員研修会

開催日	講習内容	受講人数
2月13・15・21日	会員研修会・意見交換会	110人

(6) 女性会員事業の推進

女性会員相互の親睦を図り、楽しい就業環境をつくるため次の事業を実施しました。

開催日	活動内容	参加人数	備考
5月26日	春の寄せ植え	17人	講師：寒河江市グリーンホビー代表
11月20日	施設見学・懇親会	10人	山形メディアタワー べに花温泉 ひなの湯

(7) シルバー派遣事業の取り組み

昨今の地域社会の多様なニーズに応じていくために、受託事業で対応できない就業については、山形県シルバー人材センター連合会と連携しながら「シルバー派遣事業」による就業に切り替えました。

(8) 組織体制の充実・強化

「自主・自立、共働・共助」という基本理念のもと、理事会をはじめとする各組織が活力あるセンター運営に努めました。

① 理事会

○県連合会等主催の理事・監事研修への参加

○先進地視察研修の実施（庄内町シルバー人材センター、3月）

② 専門委員会

○委員会ごとに事業計画を立案、活動

③ 事務局

○全シ協、県連合会等主催の講習、研修へ参加し資質向上

○事務局体制の充実のため、事務局職員を11月1日付けで採用

○会員向け広報紙「いぶし銀」の発行（毎月）